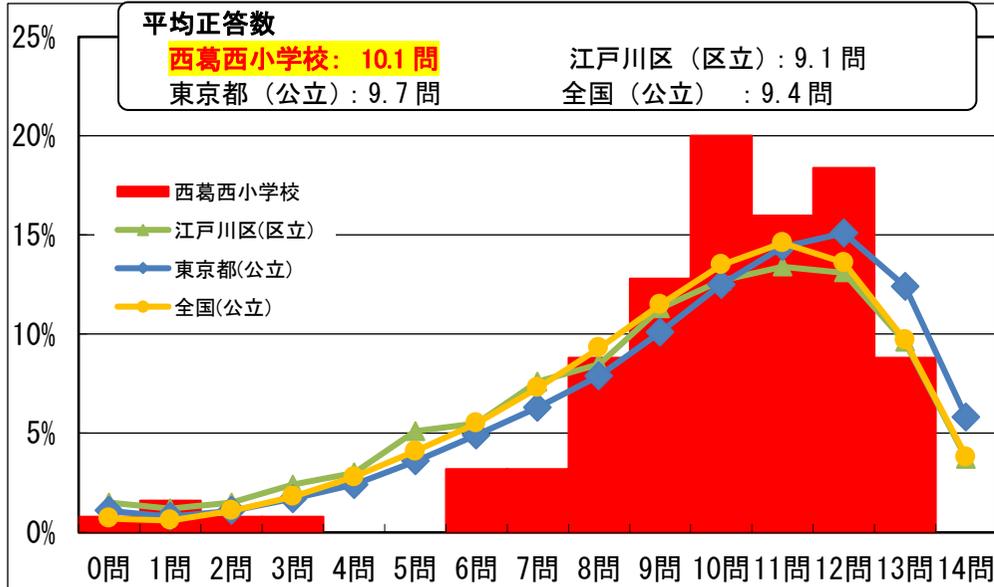


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】西葛西小学校

正答数分布



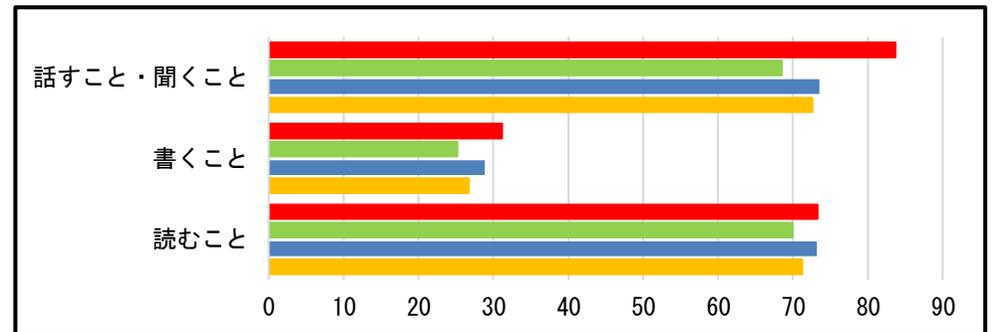
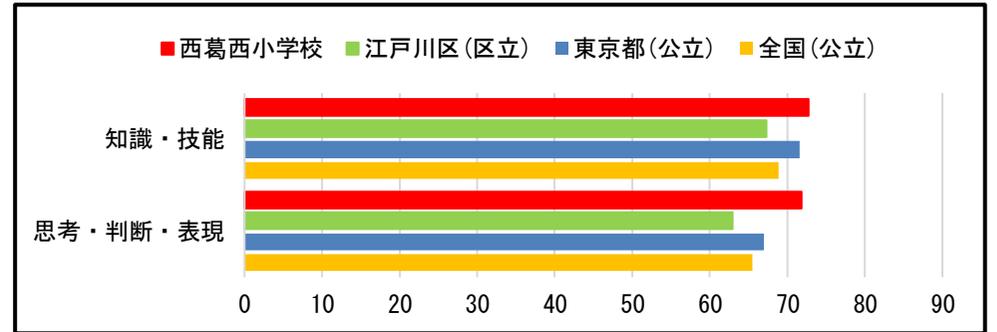
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
西葛西小学校	32.0	36.0	21.6	10.4
江戸川区(区立)	26.4	26.1	19.8	27.7
東京都(公立)	33.3	26.9	18.0	21.8
全国(公立)	27.1	28.1	20.8	24.0

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

西葛西小学校	72%
江戸川区(区立)	65%
東京都(公立)	69%
全国(公立)	67.2%
都との差	3ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

本校は、平均正答数、領域別の平均正答率が、全国・東京都・江戸川区平均よりも高い。学力上位層のA・B層が68%と多く、基礎・基本は身に付いている児童が多いといえる。ただし、「分かったことをまとめて書く」の設問では8割の正答率ながら無回答が1割強存在した。目的や意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる授業を校内研究教科である国語科を中心に意図的・計画的に設定していく。